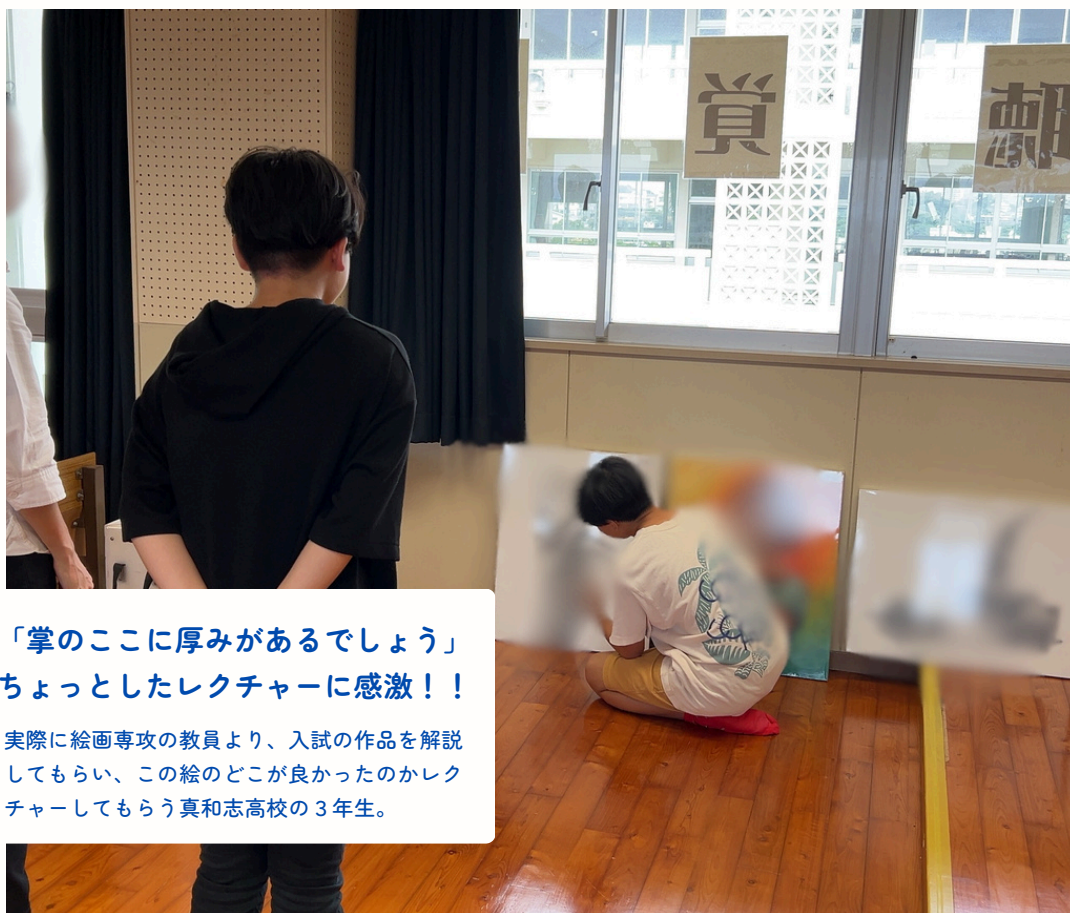


県立芸術大学の学校説明会

10



「掌のここに厚みがあるでしょう」
ちょっとしたレクチャーに感激！！

実際に絵画専攻の教員より、入試の作品を解説してもらい、この絵のどこが良かったのかレクチャーしてもらう真和志高校の3年生。



ずっと瞳をキラキラさせて
学校説明のムービー（上写真）を見ている時も、教員より細かなお話（下写真）を聞いている時も、高校生はずっと夢を抱いて、瞳を輝かせていました。

7月11日（金）の放課後に、進路とクリエイティブアーツコース共催で、県立芸術大学の学校説明会を実施。今回は、全専攻の教員陣が来校し、細かな話まで何うことができました。

全体説明と入試の説明を終えると、各専攻に興味がある生徒で分かれ、40分ほど細かなお話を何うことに。デザイン専攻の教授より、「真和志高校のポートフォリオはとても豊かで面白いモノが多いです」とお褒めいただく場面も。続けて、「ポートフォリオは、あなたがどんなものが好きなのか。あなたの人となりを感じさせられるようなものだ、見応えがあって面白いと思います」とのこと。真和志高校では、沢山の美術の授業を通して、多くのコンテストや授業内課題があり、日々の蓄積がとて

もしやすいため、県立芸術大学受験に有利な点もあることを再発見させていただきました。

学校説明会後に生徒へインタビューをすると、受験を控えた3年生は、「自分の作品を見てもらい、講評していただけたので良い機会になった。」「受験作品を見ることができて、自分に足りないモノを感じ取ることができた。」と有意義な時間を過ごすことができた様子でした。他学年では、「受験を意識した行動に移るには遅いかもしれないと感じた。これからはより一層努力する必要がある。」と自分を振り返る機会にもなっていたようです。

今回は、普通科両コースより合計18名が参加。県芸の進学実績もあるクリエイティブアーツコースでは、生徒の夢を叶える為、細かな指導を続けていきます。

「真和志高校は良い場所ですね。環境も整っているし、なにより面白いです！」